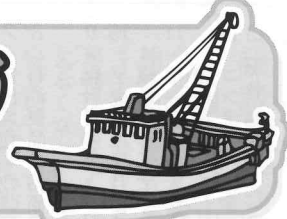




何でも魚^{うお}ツチング



No.73 『カニは満月に脱皮するのか?』

水試では試験のためにカニを飼っています。カニ飼育担当の私に「カニは満月の夜に脱皮するらしいぞ。」と、満月が近づく度につぶやく上司がいます。カニの世話で忙しいので聞き流していたのですが、今回の原稿作成を機会に少し調べてみました。ちなみに、調べたのは都合によりガザミ(わたりがに)とヒラツメガニ(しらがに)です。

ガザミ(わたりがに)

「満月」だけではつまらないので「新月(月の出ない日)」も調べてみることにし、それ以外の「その他」の3つに分けて、脱皮した割合を円グラフ(図1)にしてみました。すると、「満月3%、新月7%、普通の日90%」というなんとも言えないボンヤリした結果です…。このままではプレゼン研修を受けたいばかりの私の能力が問われるので、もっと分かりやすくするために、1日当たりの脱皮尾数を計算しました(表1)。3ヶ月間の飼育では、満月(新月)は3回しかないので、不公平を無くした訳です。この数字が大きいほど脱皮していることになりませんが、新月は「4尾/日」とその他「1.8尾/日」の倍でした。ちなみに満月は「1.67尾/日」とその他と変わりませんでした。

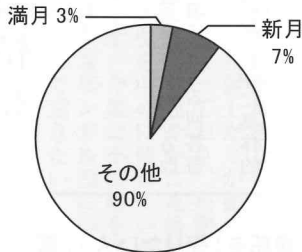


図1 満月(新月)のガザミ脱皮割合

表1 満月(新月)とガザミ脱皮尾数

	満月	新月	その他
脱皮尾数	5	12	148
日数	3	3	82
尾/日	1.67	4.00	1.80

ヒラツメガニ(しらがに)

脱皮したカニが全部で9尾と少なかったのですが、面白い結果となりました。なんと、満月に脱皮したカニが22%もあるじゃないですか!ちなみに新月はゼロでした(図2)。ガザミと同じように1日当たりの脱皮尾数を計算すると「0.67尾/日」とその他の「0.1尾/日」の6倍以上多くなりました(表2)。

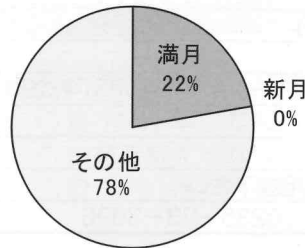


図2 満月(新月)のヒラツメガニ脱皮割合

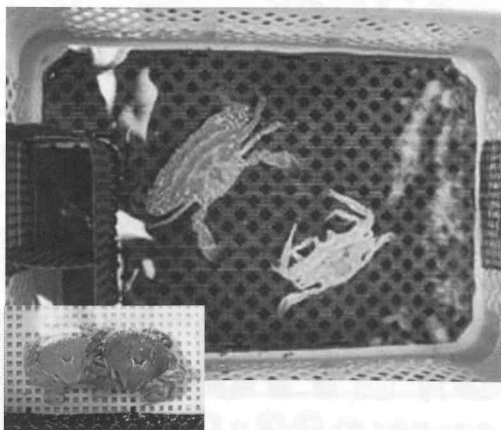
表2 満月(新月)とヒラツメガニ脱皮尾数

	満月	新月	その他
脱皮尾数	2	0	7
日数	3	3	85
尾/日	0.67	0.00	0.08

今回の結果は、他の試験のために屋内で飼育しているカニのデータなので、はっきりと切り切れない部分もありますが「わたりがに」は新月、しらがにには満月に脱皮することが多いかも…となるようです。ちなみに、この件についてネットで勉強してみたところ、「月夜の蟹は身が入っていない」という通説があり、その原因は「満月の夜に脱皮または産卵するため」とされているようです。また、満月が直接影響しているのではなく潮まわり(大潮)が影響しているとの意見もありました。更に「月夜の蟹」という言葉は「見かけ倒して中身がともなわない」ことの例えに使うそうです。

脱皮直後の殻のやわらかいカニは売りもの

にならないそうですし、月と脱皮時期の関係がわかれば、無駄な漁をしなくて済むかもしれません。残念ながら、もっと研究しないと皆さんに役立つ成果にはならないようです。でも、皆さんは日頃の漁の経験から、満月(潮まわり)とカニの脱皮の関係を感している方もいるのではないのでしょうか?もしご存知でしたら、不勉強なカニ飼育担当研究員に貴重な情報を教えてもらえると助かります。上司がつぶやくとおり、「満月とカニの脱皮」は関係がありそうです。あのソフトバンクの孫正義代表がTwitter(ツイッター)で「やりましょう」とつぶやいた事は、社員は実現しなければならぬそうです。ソフトバンク並とは言いませんが、皆さんも上司や年配の方のTweets(つぶやき)には気を配りましょう。仕事に関する貴重なヒントが隠れていることもあるようです。それに、私のように聞き流していると、「月夜の蟹」呼ばわりされかねませんよ…。



水産試験場 浅海増殖部 主任専門研究員 加賀山 祐

「月夜の蟹」状態(脱皮直後)のガザミ(右上)とヒラツメガニ(左下)